

## 1. 活動テーマ

### 【テーマ】

- 片栗粉の感触を楽しむ。

### 【テーマの設定理由】

- 片栗粉そのものの感触を楽しんだり、型を使い硬さや柔らかさに気づき言葉にする。
- 片栗粉を触ることでの音や温度に興味を持つ。

## 2. 活動スケジュール

- 片栗粉を触ってみる。
- 握ったり手の平を広げるなどし、片栗粉の硬さや温度を楽しむ。
- カップやふるいを使い、片栗粉の変化を感じる。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

片栗粉、ボウル、シート、プリンカップ、ふるい、濡れたタオル、机

## 4. 探求活動の実践

### 【活動内容】

片栗粉という粉を触ることを知り、料理に使うということを聞いて興味持っていた。初めにジップロックに入れた片栗粉を上から押ししたり揉んだりし、その後は1人ずつボウルの中で触り始めていった。

初めて味わう粉の感触に驚きながら、混ぜたり手に塗ったりとダイナミックに感触遊びを楽しんでいた。手の中で団子状にし、握ってみると「キュッキュッ」と音がすることに気づいている子どももいた。

型抜きやカップ、お皿などを使いごっこ遊びのように机の上に形を並べていったり、ふるいにかけてみると粉の細かさが変化してサラサラになっていることに驚いていた。

### 【活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり】

片栗粉をジップロックの上から触り、「かたいね」と粉の動きについて気づいていた。手形を付けるなどして片栗粉の感触を楽しんだ。



実際に片栗粉を触り、団子状にしたものを握ると「キュッキュッ」と音が鳴ることに気づいた。手の中で握るだけじゃなく、ボウルに押し付けることで音が鳴ることも発見していた。



片栗粉をふるいにかけてみると、「ゆきだ!」と見立てていた。振った粉の感触を味わうために、友達と交互にふるいと触る人で分かれて行っていた。



## 5. 振り返り

### 【振り返りによって得た先生の気づき】

料理の中に入っていることはあるが、実際に自分の手を使って触ることは初めてだったこともあり、子ども達も興奮しつつも自分の思いを言葉で繰り返し表現して気づきを伝えようとしているように感じた。手で触ってみると子ども自身が粉の固まりやすい性質に気づいたり、音がすることを発見したりと想像以上の子どもの積極的な姿が見られていた。

今回は粉のみを触ってからカップやお皿などの道具を出していたが、子ども達からの気づきも多くあったため、もう少し全身を使った感触を楽しんでから使う物を提示してもよかったと気づいた。また机で活動を行ったが、机の下に落ちている粉を足裏とビニールシートで擦り合わせている子どももいたので、たらいを使ったり、シートの上で粉を広げて触ることができるようにしたりとダイナミックな遊び方で行う進め方も1つのやり方だと感じた。

握ると粉が固まりやすいことに気づいていたので、もう少し固くすること、また柔らかくすることについてどのようなことをすれば粉が変化していくかを子ども達と一緒に考えながら次の活動を進めていきたい。